

日本医史学雑誌第五十二巻 総目次

原 著

作業療法士職の職業形成・専門化過程の研究

——作業療法士身分法制(制定以前の精神科領域従事者の取り組み及び理念を中心として)——

柳田 純子……………一五

千金方における量字についての考察

松岡尚則・山下幸一・村崎徹……………一九

ガレノス「静脈と動脈の解剖について」

——ギリシヤ語原典からの翻訳と考察——

坂井建雄・池田黎太郎・澤井直……………二二

文禄の役(壬辰の乱)における日本、朝鮮、明医学の交わり……………

松岡尚則・山下幸一・村崎徹……………二七

安土桃山時代における代用人蔘……………

松岡尚則・山下幸一・村崎徹……………三〇

京都大学整形外科学教室初代教授 松岡道治の事績、業績——第二報 松岡道治の学術論文……………

廣谷 速人……………三六

インド伝統医学書「チャラカ・サンヒター」における病理論——「チャラカ・サンヒター」第二篇第一章第一〜十五節訳解——……………

山下 勤……………三五

中神琴溪『生生堂論語説』について……………

——文献学・書誌学的、更に医学思想の観点から——……………

舘野 正美……………五四

馬場貞由訳「遁花秘訣」

写本一六種の書誌学的検討……………

松本 明知……………五二

ガスパール・ボアンにおける筋の名称について……………

澤井直・坂井建雄……………六〇

Revising Moral Treatment: Psychiatric Therapeutics in England 1750-1850……………

Akihito SUZUKI……………七〇

研究ノート

ヴェサリウスの父アンドリエスの、神聖ローマ皇帝カール五世による嫡出承認書……………

泉 彪之助……………二九

ひろば……………

古医方から蘭方・蘭学へ……………

——江戸時代中期の医療の動き——……………

長与 健夫……………三五

キナ渡来伝説の戯曲、ホセ・マリア・ペマン「聖なる副王妃」……………

泉 彪之助……………三二

移民の医学史への展望……………

——中野卓・中野進共編『昭和初期一移民の手紙による生活史——ブラジルのヨッチャン』(京都:思文閣出版、二〇〇六)に思うこと……………

鈴木 晃仁……………六三

シンポジウム「個人情報保護と医学史研究」……………

一、「個人情報保護と医学史研究」のはじめに……………

岡田 靖雄……………四三

二、個人情報保護法と個人史研究

森田 明……………四四

三、個人情報保護と学会誌編集

瀧澤 利行……………四三

資料

手塚良斎「医学所御用留」(九)……………深瀬 泰旦……………三五

池田文書の研究(二十九)……………池田文書研究会……………四二

手塚良斎「医学所御用留」(一〇・完)……………深瀬 泰旦……………四六

池田文書の研究(三十)……………池田文書研究会……………四九

追悼

和田和代史先生を偲ぶ……………奥沢 康正……………三九

杉立義一先生を偲んで……………奥沢 康正……………三三

江川義雄先生を偲んで……………原田 康夫……………三七

記事

例会抄録

星葉科大学創立者 星一の生涯……………三澤 美和……………三八

齋藤茂吉における病いと老いと……………岡田 靖雄……………三〇

イエスの治療と釈迦の治療……………杉田 暉道……………四八

消息

第五回韓日東洋醫學 SYMPOSIUM……………松岡 尚則……………三四

大石良英墓所・顕彰碑落成式……………前山隆太郎……………三五

野口英世の横浜海港検疫所赴任の時期を特定……………

——「ペスト騒動」の前日だった——……………

……………中村 澄夫……………四六

書籍紹介

高島文一著「続・鍼の道 一 内科医の熟年」……………末中 哲夫……………三四

近藤均著「医療人間学のトリニティー 折学・史学・文学」……………新村 拓……………三六

安藤優一郎著「江戸の養生所」……………瀧澤 利行……………三六

カイプル編、酒井シツ監訳「疾患別医学史」I・II・III……………蒲原 宏……………三九

川篤真人著「水滴は岩をも穿つ」……………小林 晶……………四〇

二宮陸雄著「新編 医学史探訪」……………荒井 保男……………四三

池田文書研究会編……………

「東大医学部初代総理池田謙齋池田文書の研究(上)」……………岩崎 鐵志……………四七

寺畑喜朔編「絵葉書で辿る日本近代医学史」……………西巻 明彦……………四五

鈴木厚著「世界を感動させた日本の医師 信念を貫いた愛と勇気の記録」……………渡部 幹夫……………四七

深瀬泰旦著「わが国はじめての牛痘種痘・植林宗建」……………中西 淳朗……………四七

(肥前佐賀文庫〇〇二)……………

篠田達明著「歴代天皇のカルテ」……………杉浦 守邦……………四八

鈴木晃仁・石塚久郎編「身体医文化論Ⅳ 食餌の技法」……………瀧澤 利行……………四〇

神谷昭典著「日本近代医学の展望 医科大学民主化の課題」……………岡田 靖雄……………四二

医史学関係文献目録……………

平成十六年(二〇〇四年)……………

順天堂大学医史学研究室編……………四六

第一〇七回 日本医史学会 総会 演題目次

招請講演

精神医学の先達・国際人向笠広次

鈴木 二郎……………七

特別講演

日本整形外科の歴史と田代家

蒲原 宏……………一〇

会長講演

中津藩蘭学とバイオニア精神——明治前後の中津医学史を中心にして——

川寫 真人……………三〇

シンポジウム 市民公開講座

刺激伝導系発見一〇〇年田原淳記念シンポジウム

——蘭学の里・城下町中津と医学史——

1 「天然の奇土」 前野良沢……………鳥井 裕美子……………三二

2 シーボルトと奥平昌高……………石田 純郎……………三六

3 中津藩医村上玄水と大江春塘

——地方蘭学者の条件と可能性について

……………ミヒエル ヴォルフガング……………三六

4 日本の歯科免許第一号者 小幡英之助

……………樋口 輝雄……………三〇

5 田原淳と心臓刺激伝導系

——原著からみる知られざる事実——

島田 達生……………三三

一般演題

1 明治十四年出版佐藤英白訳「華氏電気療法」と

A. M. Hamilton の原書について

渡部幹夫 筒井淳治……………三三

2 「傷寒金鏡録」の思想についての考察

……………西巻 明彦……………三六

3 コロトコフの「血圧測定の問題について」

第二報と討議

……………藤倉 一郎……………三六

4 華岡流の麻酔法はなぜ幕末に急速に衰退したのか

……………松木 明知……………四〇

5 石原忍と心理学

……………鈴木 聡志……………四二

6 Syllivius の解剖学書における分類と名指し

……………澤井 直……………四四

7 ガレノスとヴェサリウスの解剖学の比較研究(四)

——皮静脈を例にとつて——……………坂井 建雄……………四四

8 模倣の中の創意——九州大学医学部所蔵人体模

型の結紮部位表現……………月澤 美代子……………四六

9 江戸時代に制作された木骨に関する研究

——星野木骨、各務木骨、奥田木骨の比較——

……………片岡 勝子……………四六

- 10 『今昔物語集』の中の身体に関わる表現 (一)
 - 計良 吉則…………… 五
- 11 占領期の医療・看護に関する出版物の検閲 (二)
 - 九州で発行された保健婦の雑誌——
 - 大石杉乃・喜多加奈子…………… 五
- 12 大正時代都市政策として導入された大阪市学校看護婦事業
 - 平尾真智子・芳賀佐和子…………… 五
 - 看護婦事業…………… 杉浦 守邦…………… 五
- 13 本邦嚆矢の産院設立者 村松志保子の安生堂とその慈善事業…………… 石原力・原島早智子…………… 五
- 14 明治期の一避病院における看護管理の状況
 - 上坂良子・水田真由美…………… 六
- 15 高木兼寛の健康教育観に関する研究 (第一報)
 - 臨時教育会議での小学校教育改善に関する発言内容から
 - 蝦名總子・平尾真智子・芳賀佐和子…………… 六
 - その概略について…………… 筋 昭三…………… 六
- 16 「陸軍軍医学校防疫研究報告」Ⅱ部——(その二)
 - 占領期における急性感染症の発生推移 (一九四六年—一九四八年)
 - 田中誠二・杉田聡・森山敬子・丸井英一…………… 六
- 17 衛生技術官の主張とその背景——『日本公衆保健協会雑誌』の記事を中心に
 - 横田 陽子…………… 六
- 18 19 『大日本私立衛生会雑誌』にみる公衆浴場
 - 川端 美季…………… 七
- 19 『病名彙解』所載の鍼灸…………… 杉浦 雄…………… 七
- 20 明治期における医学図書館の設立
 - 寺畑 喜朔…………… 七
- 21 日本医科大学の前身済生学舎が突然廃校になった真実の経緯——東京帝国大学教授陣の圧力
 - 殿崎正明・唐沢信安・岩崎一…………… 七
- 22 済生学舎から日本医科大学への懸橋となった第三代学長 塩田廣重
 - 岩崎一・殿崎正明・唐澤信安…………… 七
- 23 収蔵『刀圭雑誌』創刊号(明治十一年)について
 - 田中 祐尾…………… 八
- 24 「野口英世」と済生学舎で同級であった石川東悦
 - 医師の残した写真と試験問題について
 - 志村俊郎・唐沢信安・石川康悦・寺本明…………… 八
- 25 関東大震災における佛蘭西寄贈病院
 - 小林 晶…………… 八
- 26 エリザベス・ガレット・アンダーソン病院の設立について…………… 柳澤 波香…………… 八
- 27 住民による健康増進活動の形成(その三)
 - 沖縄県「佐敷町」における実践から——
 - 杉山 章子…………… 八
- 28 京都岩倉において精神病者家族的看護を可能に
 - …………… 八

- したもの——大岩、阿波井との比較において
 中村 治…………… 七〇
- 30 戦前における精神病者の公立監置室について
 橋本 明…………… 七三
- 31 精神障害者通院医療費公費負担制度の四〇年
 ——活動しながらの歴史について——
 岡田 靖雄…………… 七四
- 32 占領期の婦人雑誌に掲載された灸に関する記事
 「ブランゲ文庫」より見る…………… 奥津 貴子…………… 七六
- 33 桑木灸について…………… 上田 善信…………… 七九
- 34 『名家灸選』所収の救急の灸法
 鶴田 泰平…………… 一〇〇
- 35 中国における内障に対する外科的治療について
 宮川 隆弘…………… 一〇三
- 36 「刺絡」の名称に関する考察
 友部和弘・小曾戸洋…………… 一〇四
- 37 晋代から宋代における「七死脈」の成立
 木場 由衣登…………… 一〇六
- 38 「脈経」中に見える脈状の相関関係
 中川 俊之…………… 一〇八
- 39 国立公文書館内閣文庫所蔵の脈書『診脈要捷』に
 ついて…………… 吉岡 広記…………… 二〇
- 40 「法蘭院病中日記」と島田筑波
 深瀬 泰旦…………… 二二
- 41 杉田玄白と因伯の漢方医師
 高橋 伸明…………… 二四
- 42 ドイツ留学中の森鷗外とザクセン軍団
 ——ザクセン州立中央文書館の資料から——
 武智 秀夫…………… 二六
- 43 C・Wフーフェランドの長生法と日本の養生書の
 沿革…………… 山田 英雄…………… 二八
- 44 平野重誠『養性訣』(一八三五)にみる実践的
 医療者の養生観
 中村節子・平尾真智子…………… 三〇
- 45 生体実験を拒否した生理学者 横山正松
 末永 恵子…………… 三三
- 46 ヒポクラテスの木・二〇〇六——アンケート、
 現地踏査による現状の調査——
 稲松 孝思…………… 三四
- 47 新宮涼庭訳述の「続内科則」について
 中西 淳朗…………… 三六
- 48 死生観の歴史的観察…………… 杉田 暉道…………… 三六
- 49 適々齋薬室膠柱方について
 ——村上医家史料館蔵品を中心に——
 古西 義麿…………… 三〇
- 50 江戸時代における輸入漢薬の流通について
 ——江戸送り漢薬八品を中心に——
 羽生 和子…………… 三三

- 51 田原養伯の往診用薬箱について
 中村輝子・遠藤次郎・
 W、ミヒエル・奥村 武..... 二三四
- 52 竹川竹斎と軽粉雜記
 西井 易穂..... 二三五
- 53 中国伝統医学と道教 (第二十六回) 陰隲文
 吉元 昭治..... 二三八
- 54 「初学人身窮理」松山棟庵・森下岩楠訳本の
 オリジナル本について
 島田 和幸..... 二四〇
- 55 豊後杵築の医学史・補遺
 佐藤 裕..... 二四三
- 56 趙開美の『仲景全書』と『宋板傷寒論』
 真柳 誠..... 二四四
- 57 「西医学東漸史話」の仮製本について
 秦 温信・島田保久..... 二四六
- 58 菊池東水著『解馬新書』について
 松尾 信一..... 二四八
- 59 『五輪碎』の検討 遠藤次郎・中村輝子..... 二五〇
- 60 『診病奇伎』中の「無名氏」は島浦和田一である
 大浦 宏勝..... 二五三
- 61 日本古医書と漢文——大塚文庫資料の文体別・
 形態別分類
 町泉寿郎・小曾戸洋..... 二五五
- 62 曲直瀬養安院文書の研究(四)——補遺
 小曾戸洋・町泉寿郎..... 二五五
- 63 医学古典における「大指間」の意味について
 天野陽介・宮川浩也・
 小曾戸洋・石野尚吾..... 二五九